

第
4
回
焼
畑
サ
ミ
ツ
ト
in
京
都

いま焼畑とは？

食と農と暮らしの“かたち”



2011年1月23日(日) 14:00 - 16:00

京都大学 芝蘭会館 稻盛ホール
参加無料 / 申込不要・先着順(定員230名)

主催・総合地球環境学研究所 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)
後援・財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

人類は生き物からの恵みでその生存を支えています。食料ばかりでなく、衣服や住居の材料、さらには医薬品の製造や酸素供給、清浄な水の生成に実に多様な生き物が関わっています。生物多様性を失うことは局所的な自然破壊に留まらず、人類の生存そのものを危うくします。

生物多様性の保全のためには、原生自然の保全だけでなく、古くから農地や林地として利用されることで形成されてきた二次的自然環境をいかに維持するかということが重要です。いわゆる「里山」に典型的に示されているように、二次的自然環境は生態系サービスの宝庫でもあります。

しかしながら、その多くは産業構造の変化とともに放棄され危機に瀕しています。生物多様性の問題は、多様な自然環境を創出してきた、かつての「生業」の知恵をどのように継承するか考えることとセットでなければなりません。

「焼畑」は、厳しい自然条件をたくみに利用した、わが国の重要な基層文化の一つです。「焼畑サミット」は、そんな焼畑に注目し、地域資源の保全、食・農一体となった伝統的な生活文化の継承のあり方の検討を目的として、今なお焼畑を実践（復興）している方々と一緒に、日本各地を会場に回を重ねてまいりました。

最終回となる今回は、生物多様性をめぐる昨今の議論を念頭におきつつ、あらためて「いまなぜ焼畑なのか」をテーマに総括的な議論をしたいと考えています。焼畑の研究・記録で先駆的業績を残してこられた佐々木高明氏と姫田忠義氏をお招きし、今では失われてしまった「生業としての焼畑」をあらためて考えることで、風土に根ざした「生きた」生活文化をいかに現代の暮らしの中で再生するか、具体的に有意義な議論ができるものと期待しています。

自然とながくまつくきあっていくための暮らしの「かたち」を思いえがく場にぜひ皆様もご参加ください。

プログラム	
14:00	趣旨説明
14:10	座談会・第Ⅰ部「焼畑における資源利用」(45分)
14:55	休憩(15分)
15:10	座談会・第Ⅱ部「生活文化としての焼畑」(45分)
	佐々木 高明 (国立民族学博物館名誉教授) 姫田 忠義 (民族文化映像研究所所長) 佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所教授・副所長)
15:55	閉会挨拶

進行: 鞍田 崇 (総合地球環境学研究所特任准教授)

佐々木 高明 (ささき・こうめい) — 国立民族学博物館名誉教授

1929年大阪府生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。立命館大学助教授、奈良女子大学教授、国立民族学博物館教授、同館長などを歴任。専門は民俗学。照葉樹林文化論を中尾佐助らとともに構築・提唱。わが国における焼畑研究の先駆的業績でも知られる。著作に、『熱帯の焼畑—その文化地理学的比較研究』、『稲作以前』、『日本の焼畑—その地域的比較研究』、『東・南アジア農耕論—焼畑と稲作』、『照葉樹林文化とは何か』など。

姫田 忠義 (ひめだ・ただよし) — 民族文化映像研究所所長

1928年神戸生まれ。旧制神戸商高(現兵庫県立大学)を卒業後、上京。シナリオライターなどのかたわら民俗学者宮本常一に師事し、映像による民族文化の記録作業をはじめ、76年民族文化映像研究所を創立。その活動は日本のみならず海外からも「映像人類学」の草分けとして評価されている。代表作に、「日本の記録映画のひとつの金字塔」と評される『越後奥三面』二部作のほか、『イヨモンテ—熊おくり』、『椿山—焼畑に生きる』など。

佐藤 洋一郎 (さとう・よういちろう) — 総合地球環境学研究所教授・副所長

1952年和歌山県生まれ。京都大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。静岡大学農学部助教授などを経て、2004年より現職(2008年より副所長兼任)。専門は植物遺伝学。遺跡から出土した炭化米にDNA分析の手法を応用し、稲作の起源・伝播について数々の業績をあげてきた。著書に『稲の日本史』、『里と森の危機(クライシス)』、『クスノキと日本人』、『コシヒカリより美味しい米』、『ユーラシア農耕史』全5巻(監修)など。

2011年1月23日(日) 14:00-16:00
 京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール

参加無料 / 申込不要・先着順 (定員230名)

芝蘭会館
 稲盛ホール

〒606-8501
 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内
 TEL: 075-753-9336



■ 京都駅から

- ※京都駅前バスターミナルD2のりばより
- 市バス206系統「東山通 北大路バスターミナル」行 所要時間30~40分「京大正門前」下車 徒歩2分
- ※タクシー 20~25分 約1,800円
- ※地下鉄・市バス乗継
- 地下鉄「国際会館」行 所要時間10分「今出川」下車 3番出口を出て左 市バス201系統 「百万遍 祇園」行に乗換 所要時間10~15分「京大正門前」下車 徒歩2分

■ 阪急河原町駅から

- ※市バス201系統「祇園 百万遍」行、31系統「熊野 岩倉」行 所要時間15~25分「京大正門前」下車 徒歩2分 (出口6番)
- ※タクシー 10~15分 約1,300円 (出口4・5番)

■ 京阪出町柳駅から

- ※徒歩 15分 (出口2・4番)
- ※タクシー 5分 約700円 (出口6番)

□ お問い合わせ先

総合地球環境学研究所プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(担当: 鞍田)
 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4
 TEL. (075) 707-2382 FAX. (075) 707-2508 kurata@chikyu.ac.jp
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/yakihatasaimit.html>

□ 関連企画

研究ワークショップ「地球環境問題と焼畑」
 2011年1月24日(月) 10:00-15:00
 会場: 総合地球環境学研究所・講演室
 申込不要・聴講無料
 *地球研・里プロジェクト火耕班(焼畑研究グループ)の成果報告と討議